

アメリカミシガン州駐在員便り

2012/6/10 駐在員 瀧 健太郎

[【ランシング・大津中学生交流事業の募金活動】](#)

今年の11月に、ランシング市から12人の中学生たちが大津市でホームステイをし、市内の中学校の授業に参加します。ただ、日米ともに活動の資金集めがとても大変です。先生方も一緒になって、学生さんたちが毎週のように募金活動を行っています。

例えば、市内の飲食店（ハンバーガー店やフライドチキン店など）に協力をお願いして、一定の時間帯の売り上げの一部を募金してもらったりもします。いよいよ募金される時間帯になると、先生方や保護者のみなさん、生徒たちも一生懸命にお客さん呼び込みます。なるほど、これならお店も儲かるかも知れません。子どもたちもお店もお客さんも三方よしのとても素敵な文化です。

また、6月10日にはとあるお店の一角を借り切ってサイレント・オークションが行われました。みんなで持ち寄ったり、近所のお店から寄付してもらったりした品物が並びます。そして、品物にはそれぞれ名前と入札額を記入する用紙が付いています。一定の時間内に参加者が名前と落札額を書き込み、最終的に最も高い額を書いた人が落札者になります。声を出さないで、サイレント・オークションと言うのです。手ぬぐいや色紙など日本の品物はとても人気があって、とても高く落札されていました。

また、オリジナルTシャツも作成しています。この事業に寄付金を寄せてくれた各企業のロゴマークがところ狭しと背中にプリントされています。中には日系企業もあってとてもうれしくなりました。駐在員も思わず一着買わせていただきました。

